

在日コリアンだけで済まされないヘイトスピーチ問題

ふじながたかみ

TBSラジオ『荒川強啓 デイ・キャッチ!』。放送されていない（ニュースしかネットされていない）九州^{*1}でも1週間ポッドキャストが無料配信されているので、僕の考えに多大な影響を与えている宮台真司さんの話をリアルタイムで聞くことができ、重宝しています。

てな前置きはともかく「ヘイトスピーチへの規制の賛否」ということですが、元共同通信記者の青木理^{おさむ}さんが7月8日の『デイ・キャッチ!』のニュースクリップで取り上げていたんですね。どんな内容かというと、民主党の有田芳生参議院議員^{*2}をはじめとして、最近過激化する在日朝鮮人や韓国人へのヘイトスピーチ^{*3}、いわゆる差

別発言に対して法的規制^{*4}をかけるべきという話が浮上していて、賛否両論がわき起こっている。それに対して青木さんたちの意見はどうかというものでした。が、僕はこれを聞いて思わず唸ってしまいました。

僕は基本表現規制には反対なので、町田徹^{*5}さんの言うように「民間レベルで対処すべき問題で、法的規制はすべきではない」とする立場です。法的規制を認めると権力によって拡大されることも考えられますし、法的レベルではなくどちらかというところ、道徳レベルの話なので、原則論としては法で規制しないことがよろしい。

ただ、（最終的には町田さんと同じ意見であるにせよ）青木さんの言うように「野

放しにしていいのか」と思うのもまた事実なんですよ。公的な場で「皆殺し」だとか「出て行け」とか、いくらなんでも「表現の自由」だからと言って無視できない。それに僕自身は在日コリアンだけの問題とは捉えておらず日本人同士でも当てはまると位置づけていて、少なくとも僕の「専門分野（笑）」である児童ポルノ禁止法改正に絡む漫画やアニメの規制問題やオタクバッシングなどでも目に余る主張が目立つんですね。さらにここ最近の宮台さんの議論を踏まえて言えば、こうしたヘイトスピーチには安藤美姫さんの妊娠問題とかにも通じる、日本社会の浅ましくさもしい心性が現れているんじゃないか。特にヘイトスピーチに関してはそれが先鋭化しただけものに過ぎない。しかし、それゆえに深刻な問

題なんじゃないか、という感じですよ。実際ヘイトスピーチ問題にしろ、安藤さんの妊娠問題にしろ、児童ポルノ法改正問題にしろ、そこで発せられる浅ましくてさもしい物言いは安倍政権発足後さらに先鋭化している^{*6}。という印象を僕は抱きます。

だから僕の答えとしては「こうした連中をいつまでも野放しにしていたら大変なことになるだろうというのも偽らざる気持ちとしてあるが、法規制をするのは論外」というものですね。だって、目に余るからといって法規制に賛成しちやったら漫画やアニメの規制に賛成する人を笑えません^{*7}ものね（笑）。

（二〇一三年七月十一日）

*1 基本的に関東ローカル番組。JRN系列全国ネットはニュースコーナーのみで、僕の地元ラジオ局であるRKBではニュースクリップやデイキャッチャーズボイスなどの秀逸なコーナーが聞けないのは残念。

*2 有田芳生（ありた・よしふ）…現在国会議員のジャーナリスト。というか、この人もジャーナリストなんだから表現の自由を考えてもしかるべきなんだと思うけどねえ。

*3 例を挙げると、新大久保のコリアンタウンでの若い女性に対する暴言や朝鮮学校の生徒たちに向けての暴言。

*4 言論規制という観点からではなく、弱者保護の観点で出てきているという。

*5 町田徹（まちだ・てつ）…経済ジャーナリスト。『デイ・キャッチャー!』では月曜担当デイキャッチャー。

*6 実際の話として、ヘイトスピーチなどは主に自民党支持者と親和性が高いし、それ以前の話として日本人は他人には不寛容な心性を持つ。

*7 一方で、規制に賛成する人たちの発言をこそ、逆に規制して欲しいと思うのも偽らざる事実。うーん、悩ましいね。